

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab + Durvalumab + PEM + CBDCA療法

3週毎 4コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1
イジユド(トレメリブマブ)	75 mg/body	↓
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 5or6	↓

- 【注意】 *他剤併用時はトレメリムマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 *トレメリムマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用して投与すること
 *体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること
 *ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンピタン末を1g分1で内服開始^{注1}
 *ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコパール中500 μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)^{注2}

注1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日まで可能な限り投与する。

注1:投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。

*4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
 ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能

◎メインの生食でフラッシュ

- ③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能

◎メインの生食でフラッシュ

- ④ パロノセトロン注0.75 mg+デキサメタゾン注4.95 mg(1.5 mL)+生食20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑤ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑥ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液250 mL 点滴静注60分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day2,3 アプレピタントカプセル(80 mg)1Cap 1× 朝 内服

day2-4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1× 朝 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース
	day1	day1	day1	day1
月日	/	/	/	/
イジユド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
イミフィンジ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				